

盛地申 第8号 「組合員ひとり一要求実現」② 運車関係① に関する団体交渉

第4項 SASの治療法であるCPAP使用料を会社負担とすること

→【回答】 SASは私傷病であることから、CPAP使用料を会社負担とする考えはない。

(組合) 乗務員はSASと診断されるとCPAPの治療が義務になるが、年間6万~7万の自己負担が発生している。

【会社】 精密検査は会社負担となるが、治療は私傷病扱いで個人の負担になる。

(組合) SASを扱う病院が少ない事は把握しているが、青森・八戸・釜石・一関の乗務員職場の人は、個人の時間とお金を使って、盛岡まで足を運んで受診している。そのような人達に対して会社として補助等はできないか？

【会社】 私傷病であり会社として考えはない。ただ各地区にもSASを扱う病院が増えてきているので、会社としては受け入れる病院を増やしていきたい。

第5項 E130系車両内カメラを2両目も見えるように改良すること。

→【回答】 現時点で、車内カメラシステムを改造する考えはない。

(組合) 昨年10月からワンマン運転を開始したが、まだ定着していない事から降車で着なかった事象などもあり、苦情も多く出されている。車内カメラは1両目しか見えないので、改良してほしい。

【会社】 車内カメラは車内のトイレの死角を見る為に設置している。2両を見えるように改良する為には大規模工事が必要になる。対比効果を見る必要もあり、現時点では考えていない。

(組合) ワンマン乗車のお客さま周知に問題があるのではないかと？

【会社】 これまでも乗車指導は行ってきたが、定着にはまだ時間がかかる。引き続き乗車指導を行っていくし、現場と意見交換会も行っていく。

第6項 ワンマン列車の両替機を1万円札も対応可能な両替機に取替えを行うこと。

→【回答】 現行の両替機を取り替える考えはない。

(組合) 大湊線の下北駅は特に、集札の際乗車券を購入していないお客さまが多く、過収受証明書を渡している現状である。過収受証明書自体がお客さまから不評であり、苦情ももらっている。

【会社】 精算機は種類しかなく、東日本管内にそのような物がない。改造工事、新造となると相当な時間と経費がかかる事が予想される為、現状では難しい。過収受証明書に対するお客さまの声は受け止めるが、支社独自で現行制度を変更する事は難しい。

(組合) 今後ワンマンが拡大していく事が予想されるが、どの様に解消していく考えか？

【会社】 チケットレス・Suicaなどの活用を検討していく。